

人と装置の対話を創る



# 山一電設株式会社



**社長の山崎昭義さん**  
真面目な社員が多く、強い安全意識をもって作業に努めてくれます。健康経営の取組に積極的でありがたいです。

今年4月に創業60周年を迎えた山一電設(株)。60周年を迎えられたとのことで、社長の山崎昭義さんにお話を伺いました。取材・編集/大下

## 【無災害記録更新中！】

「山一電設(株)」は1961年4月に初代社長の山崎忠一郎さんが設立した山一計測器工業所が始まりの、電気設備工事、電気通信工事、計装設備工事、空調設備工事の会社です。社名は「山口県で一番になる！」との思いと、忠一郎さんの名前から「山一」と名付けられました。

現社長が就任した頃、不況のあおりで業績が下がり、売り上げも減り、とてもプレッシャーだったそうですが、皆さんに喜んでいただく設備を提供することを念頭に「人と装置の対話を創る」をモットーにやってこられました。今年で60周年！周南市に60万円を寄付されました。創立50周年の年には東日本大震災が発生し、赤十字社へ寄付をされたそうです。

現在、社員85人。周南地域の工場の電気・制御設備のメンテナンスを中心に、周南市の新庁舎やソレーネ周南などの電気設備工事を手がけてきました。

無災害記録は令和3年4月末時点で851万時間です！

## 【厚労省表彰！】

メンテナンスの仕事は、即時対応が求められることも多いことから、各人の対応力を強化する取り組みの一環として、制御機器メーカーの研修会、講習会へ参加した社員が、社内で水平展開を行い、技術革新への対応を進めています。これからは計測器の無線化が進むそうですよ。

半日有休や、5・8月の連休取得などに取組み、2002年に雇用改善優良事業所として厚生労働大臣表彰の進歩賞を受賞！社員の小グループを作り、月に2回グループ勉強会をしています。仕事のスキルアップや健康管理、趣味の話など、なんでもあり。技術的な知識だけでなく、皆さんの知見が広がるというメリットも！

## 【アットホーム♪】

昭和51年から社内の親睦を図る目的で軟式野球の同好会を始めました。今ではソフトボールと釣り、ゴルフも増え、社員の団結力を高めるのに役立っています。実は、社長も釣り以外は全てに参加しているそうです！

コロナになる前は毎年、研修旅行をしていました。なんと参加率90%以上！

工業高校教育用のシステムプラントを製作しました。高さ約2m。模擬実験ができるもので、制御盤もあります。



三笠町にある周南事業所では新人さんが、無数につながった電気コードを使って絶賛研修中！皆さん気持ち良い挨拶をしてくれました→



事業所内の工場では、配電盤の作業や溶接などの作業をされていました。

## ■ DATA

- 【住所】周南市権現町 4-10
- 【営業時間】8:15~17:00
- 【定休日】土日祝日
- 【TEL】0834-21-1006
- 【FAX】0834-21-2300
- 【駐車場】有
- 【HP】<https://yamaichidensetsu.co.jp>

がムシャラに頑張ります！



やまいちキャラクター

山一之介  
(やまいちのすけ)